

**TTC標準**  
Standard

JT-Q 9 5 5

**ISDN ユーザ・網インタフェース  
特定グループ付加サービス**

ISDN User-Network Interface-  
Community of Interest Supplementary Services

第2版

1992年11月26日制定

社団法人  
**情報通信技術委員会**

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、  
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

## 1. 国際勧告等との関連

- (1) 本標準は、1991年9月にジュネーブで開催されたCCITT-SGX Iの第9会期中間会合における勧告草案Q. 955の審議結果に準拠したものである。

## 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

### 2.1 オプション選択項目

- (1) JT-Q955 [I] 閉域接続付加サービス (CUG)

下記の項目については、CCITT勧告Q. 955. 1において複数の選択肢があるが、以下の理由によりTTCとしては、その一方のみを標準化する。

- (a) 分割発呼手順 (5.2 節)

発呼手順は一括発呼手順を標準とし、分割発呼手順を非標準とする。

分割発呼手順を標準化しない理由は、JT-Q931において、発呼時の着番号情報要素、キーパッドファシリティ情報要素の分割転送手順 (分割発呼手順) を非標準としていること、並びに一括発呼手順があれば分割発呼手順の機能を全て包含する、ことによるものである。

- (b) 優先CUGオプションと出アクセス (OA) オプションを暗黙的に要求する場合の網の動作

CCITT勧告において、本項目は国内オプションとして以下の3つから選択することになっている。

動作 i) 優先CUGと解釈し、動作する

動作 ii) 契約上両オプションの組み合わせを禁止する

動作 iii) 優先CUG+出アクセスと解釈し、動作する

上記の内動作 iii) を標準とする。動作 iii) を標準とする理由は、閉域接続 (CUG) サービス記述ではユーザの加入契約クラスにより動作 ii) は可能であり、また動作 iii) があれば動作 i) の機能を包含する、ことによるものである。

### 2.2 オプション項目

- (1) JT-Q955 [I] 閉域接続付加サービス (CUG)

CCITT勧告Q. 955. 1において複数の選択肢がある項目に対して、TTC標準としてもオプション項目とするものについて表1-1に示す。

### 2.3 その他

CCITTとの章立て構成比較表

CCITT勧告	本標準
Q. 955. 1	[I]

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	平成 3年 4月 26日	制定
第2版	平成 4年 11月 26日	CCITT SGXI の 1991 年 9月 会合の結果を反映したもの

### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

### 5. 注意事項

- (1) 端末と網とが本標準に準拠して接続される場合においては、2.2 節のオプション項目に関して、各々が採用した選択肢の整合性を確認する必要がある。
- (2) 前記 2. 1 節で非標準とした項目に関しても、CCITT 勧告との関連等の内容の明確化のため、これが非標準ということを注記した上で、本文にはそのまま記述している。
- (3) CCITT 勧告 I . 130 において定義されている ISDN サービス方法論に従い、各付加サービスの定義に関しては標準 JT - 250 シリーズ (ステージ 1) に記述され、各付加サービスの網と端末の機能分担等に関しては勧告 Q . 80 シリーズ (ステージ 2) に記述されている。
- (4) 本文中に記述されている他の付加サービスとの相互作用に関して、現時点では標準となっていない付加サービスに対しても記述しているが、その記述はその付加サービスが標準となる時点で記述追加・変更される可能性があるため注意が必要である。

### 6. その他

- (1) 参照する主な勧告、標準等

( ) TTC 標準

JT - Q931、JT - Q932、JT - I255 ( )

( ) CCITT 勧告

Q . 952 . 6、Q . 954 . 2

表 1 - 1 ( ) 閉域接続付加サービスオプション項目一覧 (CUG)

項番	項目 (本文該当箇所)	選択肢	選択肢の関係	提供 / 選択する サイド	選択条件及び備考
1	加入契約オプションの提供 (3.1)	提供しない 提供する	A	網	
2	放送形データリンクを介して送信された CUG インボークに対するリターンエラーコンポーネントの維持 (5.2.2.3)	維持しない 維持する	E O	網	

選択肢の関係

E : 必須

O : オプション

A : 1 つ又は複数を選択

## 目 次

〔I〕閉域接続付加サービス（CUG）	
1. 定 義	1
2. 解 説	1
2.1 概 要	1
2.2 特殊用語	1
2.3 テレコミュニケーションサービスへの適用上の制限	2
2.4 状態定義	2
3. 動作上の要求条件	3
3.1 サービス提供／取消し	3
3.2 発側の網に対する要求条件	4
3.3 網内での要求条件	4
3.4 着側の網に対する要求条件	4
4. コーディング上の要求条件	4
4.1 メッセージ	4
4.2 オペレーション（抽象構文記法1（ASN.1））	4
5. 信号上の要求条件	6
5.1 サービスの開始／停止／登録	6
5.2 インボケーションと動作	6
5.2.1 通常動作	6
5.2.1.1 発信側加入者線交換機での動作	6
5.2.1.1.1 閉域接続（CUG）サービス契約ユーザからの発信呼	6
5.2.1.1.2 閉域接続（CUG）サービス非契約ユーザからの発信呼	7
5.2.1.2 中継交換機での動作	7
5.2.1.3 着信側加入者線交換機での動作	7
5.2.2 例外手順	7
5.2.2.1 発信側加入者線交換機での動作	7
5.2.2.1.1 閉域接続（CUG）サービス契約ユーザからの発信呼	7
5.2.2.1.2 閉域接続（CUG）サービス非契約ユーザからの発信呼	8
5.2.2.2 中継交換機での動作	8
5.2.2.3 着信側加入者線交換機での動作	8
6. 他の付加サービスとの相互作用	13
6.1 コールウェイティング（CW）	13
6.2 コールトランスファ（CT）	13
6.3 接続先番号通知（COLP）	13
6.4 接続先番号通知制限（COLR）	13
6.5 発信者番号通知（CLIP）	13
6.6 発信者番号通知制限（CLIR）	13
6.7 閉域接続付加サービス（CUG）	13
6.8 会議通話（CONF）	13
6.9 ダイレクトダイヤルイン（DDI）	14
6.10 着信転送系サービス	14

6.10.1	ビジター時着信転送 (CFB)	14
6.10.2	無応答時着信転送 (CFNR)	14
6.10.3	無制限着信転送 (CFU)	14
6.10.4	呼毎着信転送 (CD)	14
6.11	代表 (LH)	14
6.12	三者通話 (3PTY)	14
6.13	ユーザ・ユーザ情報転送 (UUS)	14
6.13.1	サービス 1	14
6.13.2	サービス 2	14
6.13.3	サービス 3	14
6.14	複数加入者番号付加サービス (MSN)	14
6.15	保留サービス (HOLD)	15
6.16	課金情報通知 (AOC)	15
6.17	サブアドレス (SUB)	15
6.18	端末移動	15
6.19	話中時再呼び出し (CCBS)	15
6.20	悪意呼通知 (MCID)	15
7.	他網との相互作用	15
7.1	公衆網との相互作用	15
7.2	私設 ISDN との相互作用	15
8.	信号フロー	17
9.	パラメータ値 (タイマ)	20
10.	動的記述 (SDL)	20
	付属資料A コーディングへの要求条件のダイアグラム記述	23
A. 1	インボークコンポーネント	24
A. 2	リターンエラーコンポーネント	25
	略号リスト	26

## 〔 I 〕 閉域接続付加サービス（CUG）

### 1. 定義

閉域接続（CUG）付加サービスによって、ユーザは発着信が制限されたグループを形成することができる。特定ユーザは、1つ以上のCUGのメンバとなりうる。同一CUGのメンバは互いに通信できるが、一般的にはそのCUG外のユーザとは通信できない。特定のCUGメンバは、そのグループ外への発信、かつ／またはそのグループ外からの着信を許容する付加的な能力を持つことができる。特定のCUGメンバは、そのCUGの他のメンバへの発信、またはそのCUGの他のメンバからの着信を付加的に制限することができる。

TTC注一 「閉域接続（CUG）付加サービス」の記述はサービス名を示し、「CUG」の記述は本サービスにより形成されるグループを意味する。

### 2. 解説

#### 2.1 概要

本質的には正常呼設定手順が適用されるが、付加的な閉域接続（CUG）付加サービスを提供する場合、網は発信ユーザからの発呼要求を解析すると共に、発信ユーザと着信ユーザ（ISDN番号によって識別される）の双方に対応したCUG属性も解析する。この解析の結果として、呼はCUGの理由により呼損となるか許容されて継続となる。

注一ユーザがダイレクトダイヤルイン（DDI）付加サービスに加入している場合、属性は網の認識することのできるISDN番号の一部に、またはアクセスに有効なデフォルト番号に対応する。

網提供者は、一人のユーザがメンバになることができるCUGの最大数を定義し得る。

閉域接続（CUG）付加サービスの根本的な目的は不特定ユーザとの接続を防ぐことであり、CUGの完全性を確保するために、他の付加サービスとの相互作用をきびしく制限することが必要である。

#### 2.2 特殊用語

**CUGマネージャ** CUGマネージャは、CUGの全てのメンバの利益の代表者である。メンバシップそしてメンバのオプションの設計や制御によってCUGマネージャは、全体としてメンバの要求する総合的な閉域接続（CUG）付加サービスを提供する。

CUGマネージャはCUGのメンバである必要はなく、その概念は信号手順を含まない。

**CUGインデックス** CUGインデックスは、呼を発信する場合に特定のCUGを選択するために発信ユーザによって使用されるパラメータである。インデックスは、着信呼がCUGから生成されたことを着ユーザへ通知する場合にも使用される。

このインデックスは、ローカルにのみ意味を持つ。即ち、発信ユーザが使用するインデックスと、同じCUGを識別するのに着信ユーザが使用するインデックスは一般的に異なる。

CUGインタロックコード	<p>これは、網内のCUGメンバシップを識別する手段である。発側で有効なCUGと認識されれば、そのCUGを識別するCUGインデックスは、そのCUGのCUGインタロックコードへマッピングされる。着側でも有効なCUGと認識されれば、そのCUGを識別するCUGインタロックコードはそのCUGのCUGインデックスへマッピングされる。</p> <p>CUGインタロックコードはアクセスの概念ではないが、信号手順とフローの記述において明瞭化のため、用いられる。</p>
優先CUG	<p>優先CUGに加入しているCUGユーザは、発呼要求にCUGインデックスが指定されない場合に、網によって要求CUGを識別するために使用されるCUGインデックスを指名する。</p> <p>優先CUGは、ISDN番号（または、サービス毎のISDN番号-3.1節参照-）に対して適用されるのであって特定CUGに対して適用されるのではない。</p>
CUG内サービス	<p>CUG内サービスのユーザは、自分自身がメンバとして所属するCUGのメンバへの発信及びそのメンバからの着信に制限される。</p>
CUG内発呼禁止	<p>この制限は、CUG内発呼禁止オプションとなっているCUGのメンバは、そのCUGのメンバにCUG呼を発信できないという意味である。</p>
出アクセス	<p>出アクセスにより、CUGユーザはCUG内サービスに加えて（CUG内で発呼禁止であるにかかわらず）、全ての他の非CUGユーザ及び、入アクセスを許容している他のCUGユーザに発呼することができる。</p> <p>出アクセスの契約は、ISDN番号（または、サービス毎のISDN番号-3.1節参照-）に対して適用されるのであって、特定CUGに対して適用されるのではない。</p>
CUG内着呼禁止	<p>この制限は、CUG内着呼禁止オプションとなっているCUGメンバはそのCUGのメンバからのCUG呼を受け付けることができないという意味である。</p>
入アクセス	<p>入アクセスにより、CUGユーザはCUG内サービスに加えて（CUG内で着呼禁止であるにかかわらず）、全ての他の非CUGユーザ及び、出アクセスを許容している他のCUGユーザからの着信を受入れることができる。</p> <p>入アクセスはISDN番号（または、サービス毎のISDN番号-3.1節参照-）に対して適用されるのであって、特定CUGに対して適用されるのではない。</p>

### 2.3 テレコミュニケーションサービスへの適用上の制限

一般的に閉域接続（CUG）付加サービスは基本サービスと区別して定義される、即ちそれはISDN番号に対して適用される。しかし、本付加サービスは1つの基本サービスまたは一連の基本サービスに関連して定義されることもある。

### 2.4 状態定義

閉域接続（CUG）付加サービスには特別に定義された状態を必要としない。



### 3. 動作上の要求条件

#### 3.1 サービス提供/取消し

新メンバへの閉域接続（CUG）付加サービスの提供と個々の様々なCUGオプション（優先CUGを除く）の割当には、CUGマネージャの同意のもとに、新メンバと網提供者との間の事前契約が必要である。

そのCUGに対応するCUGインデックス値の割当と優先CUG割当は、新メンバと網提供者のみの間での、事前契約が必要である。

閉域接続（CUG）付加サービスは、加入契約後に利用可能となる。網提供者のオプションとして、閉域接続（CUG）付加サービスは加入契約オプションとともに提供される。そのオプションは、2つのグループに分けられる。

(a) 以下のオプションはISDN番号単位に割り当てられる。

オプション値は、CUGのサービスを契約してあるISDN番号で有効な各々の基本サービスに、または基本サービス群に、割り当てることができる。

オプション	値
(1) 優先CUG	・デフォルトのCUGインデックス ・指定無し
(2) 出アクセス	・固定許容 ・呼毎許容 ・非許容

注一 呼毎許容の出アクセスオプションは明示的発信アクセス、固定許容の出アクセスオプションは暗黙的発信アクセスとして認識されることがある。

(3) 入アクセス	・許容 ・非許容
-----------	-------------

閉域接続（CUG）付加サービスを持つあるユーザに対して、基本サービス、または基本サービス群がどのCUGにも含まれない場合、

－優先CUGは指定無しのオプション値をとらなければいけない。

－出アクセスは、基本サービスまたは基本サービス群を使用する発呼が要求される場合通常固定許容のオプション値をとる。

－入アクセスは、基本サービスまたは基本サービス群を使用する発呼が要求される場合通常許容のオプション値をとる。

(b) 次のオプションはCUG毎に割り当てられる。CUGが1つ以上の基本サービス、または基本サービス群を含むならば、このオプションの値は各々の基本サービス、基本サービス群に個々に割り当てられる。

オプション	値
(1) CUG内禁止	・無し ・CUG内着呼禁止 ・CUG内発呼禁止

ISDN番号に利用できる特定の基本サービス、または基本サービス群に対して優先CUGが指定されている場合、その優先CUGはその基本サービスあるいは基本サービス群に対してCUG内発呼禁止オプションを割り当てることができない。

CUGメンバへ割り当てられるオプションは網に保持される。

注一 これらCUGオプションを集中管理とするか、あるいは分散管理とするかは本標準の対象外であり、閉域接続（CUG）付加サービスのステージ2勧告（CCITT勧告Q. 85. 1）で定義される。

### 3.2 発側の網に対する要求条件

他の付加サービスとの確実な相互作用のために、発側の網は、呼の生起している間は着側の網に送信された情報内にある非CUG、出アクセスなしCUGあるいは出アクセスありCUG呼のいずれを要求したかという詳細情報を保持しておくことが必要である。着側の網に要求される閉域識別（もしあれば）も保持されなければならない。

### 3.3 網内での要求条件

本節は、デジタル加入者線信号方式 No.1（DSS1）には適用されない。

### 3.4 着側の網に対する要求条件

他の付加サービスとの確実な相互作用のためには、着側の網は呼の生起している間非CUG、出アクセスなしCUG、出アクセスありCUG呼のいずれかをユーザに受け渡したかという詳細情報を保持することが必要である。要求された閉域識別（もしあれば）も保持されなければならない。

## 4. コーディング上の要求条件

### 4.1 メッセージ

閉域接続（CUG）付加サービスのインボケーションと制御に使用されるメッセージを以下に示す。

- (1) 「切断」 (DISCONNECT) (注1)
- (2) 「解放」 (RELEASE) (注1)
- (3) 「解放完了」 (RELEASE COMPLETE) (注1)
- (4) 「呼設定」 (SETUP) (注2)

注1一 発信ユーザが明白に閉域接続（CUG）サービスを要求し、網が閉域接続（CUG）サービス受付の応答を発信ユーザに返す前にその呼を継続させることができない場合、ファシリティ情報要素は網からユーザの方向の最初の呼切断復旧メッセージに含まれる。

着信ユーザが網へ閉域接続（CUG）サービス受付の応答を返す前にその呼を継続させることができない場合、ファシリティ情報要素はユーザから網の方向の最初の呼切断復旧メッセージに含まれる。

注2一 発信ユーザが明白に閉域接続（CUG）サービスを要求する場合、ユーザから網の方向にファシリティ情報要素が含まれる。

CUG呼が要求された場合、網からユーザ方向にファシリティ情報要素が含まれる。

### 4.2 オペレーション（抽象構文記法1（ASN. 1））

Closed-User-Group-service-Operations {ccitt recommendation q 955 cug(1)}

DEFINITIONS ::=

BEGIN

EXPORTS CUGCallOperationType;

IMPORTS OPERATION, ERROR Remote-Operation-Notation {joint-iso-ccitt

```

remote-operations(4) notation(0)}
userNotSubscribed, basicServiceNotProvided From General-Error-
List {ccitt recommendation q 950 general-error-list} ;
CUGCallOperationType ::= --CUG呼オペレーション
--発信ユーザから発側の網へ
--及び着側の網から着信ユーザへ
--インボークされる。

OPERATION
ARGUMENT SEQUENCE {
    outgoingAccessRequest [1] IMPLICIT BOOLEAN DEFAULT FALSE,
        --出アクセス要求時、TRUEが設定される。
        --出アクセス未要求時、FALSEが設定される。
    cUGIndex [2] IMPLICIT CGU index OPTIONAL }
--「呼設定」(SETUP)メッセージ内の
--CUGインデックス

ERRORS {
    userNotSubscribed,
    basicServiceNotProvided,
    invalidOrUnregisteredCUGIndex,
    requestedBasicServiceViolatesCUGConstraints,
    outgoingCallsBarredWithinCUG,
    incomingCallsBarredWithinCUG,
    userNotMemberOfCUG,
    inconsistencyInDesignatedFacilityAndSubscriberClass}
--発信ユーザまたは網への最初の呼切断復旧メッセージに
--おけるエラー

cUGCallOperation CUGCallOperationType ::= 2
CUGIndex ::= INTEGER (0..32767)
--網によってはCUGインデックスの最大値を0~9999
--に特定する場合がある。

invalidOrUnregisteredCUGIndex ERROR ::= 16
--存在しないCUGインデックス
--(無効または未登録CUGインデックス)

requestedBasicServiceViolatesCUGConstraints ERROR ::= 17
--要求基本サービスはCUGの
--制限を侵害

outgoingCallsBarredWithinCUG ERROR ::= 18
--CUG内発呼禁止

incomingCallsBarredWithinCUG ERROR ::= 19
--CUG内着呼禁止

userNotMemberOfCUG ERROR ::= 20
--ユーザはCUGメンバでない

inconsistencyInDesignatedFacilityAndSubscriberClass ERROR ::= 21
--発信呼の情報と
--加入者クラスの不一致

END -- 閉域接続(CUG)サービスオペレーションの終了

```

## 5. 信号上の要求条件

### 5.1 サービスの開始／停止／登録

サービスの開始／停止／登録の信号手順は必要としない。

### 5.2 インボケーションと動作

<本節の記述のうち「呼設定確認」(SETUP ACKNOWLEDGE)メッセージを適用する手順は非標準である(参考の2.1.1(l)(a)参照)。>

閉域接続(CUG)サービスは以下によって起動される。

- －閉域接続(CUG)サービスに契約しているユーザからの発信呼。このユーザは明白に閉域接続(CUG)サービスを要求できるが、明白な要求がない場合は自動的にデフォルトの手順が適用される。
- －閉域接続(CUG)サービスに契約しているユーザへの着信呼。

#### 5.2.1 通常動作

##### 5.2.1.1 発信側加入者線交換機での動作

###### 5.2.1.1.1 閉域接続(CUG)サービス契約ユーザからの発信呼

###### (a) 明白な閉域接続(CUG)サービス要求

発信ユーザは、発呼するための「呼設定」(SETUP)メッセージの中にCUG呼のインボークコンポーネントを入れたファシリティ情報要素を含めることによって、閉域接続(CUG)サービスを明白に要求することができる。

出アクセスであることを示すためには、ユーザは出アクセス要求パラメータ値をTRUEに設定する。

網は、インボークコンポーネントの内容と発信ユーザのCUG属性に基づいて、発側の網に対して適当かどうか内部的なチェックを実行する。それらのチェック結果は、表5-1/JT-Q955[I](注釈含む)に定義される。

注一 網は「呼設定」(SETUP)メッセージに対して「呼設定確認」(SETUP ACKNOWLEDGE)かまたは「呼設定受付」(CALL PROCEEDING)メッセージで応答するかも知れないし、あるいはその呼はチェックが完了する前に、閉域接続(CUG)サービスと関連しない理由で切断復旧されるかも知れない。

発側の網に関連するチェックの結果がその呼を継続することを許可するならば、それから網は着信ユーザのCUG属性(もしあれば)に基づいてさらに内部チェックを実行する。それらのチェックの結果は表5-2/JT-Q955[I]に定義される。

着信ユーザへの着呼が成功した場合、基本呼制御に従って「呼出」(ALERTING)または「応答」(CONNECT)メッセージが発信ユーザに返されるべきである。

###### (b) 暗黙的な閉域接続(CUG)サービス要求

閉域接続(CUG)サービスを契約している発信ユーザは、「呼設定」(SETUP)メッセージの中にインボークコンポーネントを含めずにCUGサービスを要求することができる(たとえば優先CUGファシリティを利用するために)。この場合5.2.1.1.1節a)の手順が以下の例外と共に適用される。

－網は発信ユーザのCUG属性に基づいて発側の網固有の内部チェックのみを実行する。

#### 5.2.1.1.2 閉域接続（CUG）サービス非契約ユーザからの発信呼

閉域接続（CUG）サービス非契約ユーザは閉域接続（CUG）サービス契約ユーザに呼を設定することが可能である。そのような発信ユーザは発呼する「呼設定」（SETUP）メッセージの中にCUG呼のインボークコンポーネントを含めないならば表5-1/JT-Q955〔I〕が適用される。

網は着信ユーザのCUG属性（もしあれば）に基づいてさらに内部のチェックを実行する。それらのチェックの結果は表5-2/JT-Q955〔I〕に定義される。

着信ユーザへの着呼が成功した場合、発信ユーザにはリターンリザルトコンポーネントは返されない。

#### 5.2.1.2 中継交換機での動作

本節ではデジタル加入者線信号方式 No.1（DSS1）には適用されない。

#### 5.2.1.3 着信側加入者線交換機での動作

表5-2/JT-Q955〔I〕で定義された内部チェックの結果着信ユーザへCUG呼（出アクセス要求のある場合またはない場合）を必要とする場合、着呼の「呼設定」（SETUP）メッセージはCUG呼インボークコンポーネントを入れたファシリティ情報要素を含む。

着信ユーザへの着呼が成功した場合、リターンリザルトコンポーネントの返送を網は期待しない。

### 5.2.2 例外手順

#### 5.2.2.1 発信側加入者線交換機での動作

##### 5.2.2.1.1 閉域接続（CUG）サービス契約ユーザからの発信呼

###### (a) 明示的な閉域接続（CUG）サービス要求

発側または着側の網のどちらかに関連するチェック結果として、閉域接続（CUG）サービスに関連した理由のため網がその呼を継続することができない場合、そのとき網は、その呼設定を呼損とし、表5-1/JT-Q955〔I〕と表5-2/JT-Q955〔I〕（注釈含む）で定義された適切なリターンエラーコンポーネントを入れたファシリティ情報要素を発信ユーザに返送する最初の切断復旧メッセージに含める。

リターンエラーコンポーネントを伝えるための切断復旧メッセージ中の標準JT-Q931理由表示は、#29“ファシリティ拒否”である。

呼設定が閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由のため呼損となる場合、“基本サービス失敗”を表示したリターンエラーコンポーネントを入れたファシリティ情報要素が発信ユーザに返される最初の切断復旧メッセージに含められる。使用される標準JT-Q931理由表示は、その呼損を起こした理由によって決定される。しかしながら、たとえリターンエラーコンポーネントを入れたファシリティ情報要素が発信ユーザへの最初の切断復旧メッセージに含まれていないとしても、その端末は通常の切断復旧をし、継続しオペレーションを廃棄する。

閉域接続（CUG）サービスに関連した理由及び閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由の両方の理由により呼損となる可能性がある。この場合、リターンエラーコンポーネントは表5-1/JT-Q955〔I〕と表5-2/JT-Q955〔I〕によって定義された表示を含むが標準JT-Q931理由表示は、呼損を起こした閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由によって決定される。

###### (b) 暗黙的な閉域接続（CUG）サービス要求

閉域接続（CUG）サービス契約発信ユーザが発呼する「呼設定」（SETUP）メッセージの中にインボークコンポーネントを含めない場合（たとえば優先CUGファシリティを利用するために）、5.2.2.1.1節のa)の手順が以下の例外と共に適用される。

- (1) 発側または着側の網が閉域接続（CUG）サービスに関連する理由のためにその呼を継続することができないならば、網は以下に示す標準JT-Q931理由表示を使って呼の切断復旧を開始する。
  - －#87 “ユーザはCUGメンバでない”  
明白な要求手順においてリターンエラー値が#20 “ユーザはCUGメンバでない” の場合に使用される。
  - －#29 “ファシリティ拒否”  
その他の閉域接続（CUG）サービスに関係する理由のすべての場合に使用される。
- (2) 純粋に閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由のため呼損となるとき、発信ユーザには“基本サービス失敗”の表示は提供されない。

#### 5.2.2.1.2 閉域接続（CUG）サービス非契約ユーザからの発信呼

発信ユーザが発呼する「呼設定」（SETUP）メッセージの中にCUG呼インボークコンポーネントを入れたファシリティ情報要素を含め、かつ発信ユーザが閉域接続（CUG）サービスを要求していることを網が認識できるならば、表5-1/JT-Q955 [I]に定義されている適切な表示、すなわち“ユーザ未契約”を持つリターンエラーコンポーネントを入れたファシリティ情報要素を発信ユーザに返す最初の呼切断復旧メッセージに含める。

発信ユーザがファシリティ情報要素を含めずかつ網が着側の網に関連するチェックの結果によりその呼を継続できないならば、網はその呼設定を呼損とし、標準JT-Q931理由表示#87 “ユーザはCUGメンバでない”で切断復旧を開始する。発信ユーザには閉域接続（CUG）サービスに関連する表示は伝えられない。

呼設定が閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由のため呼損となる場合、閉域接続（CUG）サービスに関連する手順は適用されない。

#### 5.2.2.2 中継交換機での動作

本節はデジタル加入者線信号方式 No.1（DSS1）には適用されない。

#### 5.2.2.3 着信側加入者線交換機での動作

着呼の「呼設定」（SETUP）メッセージの送信から「呼出」（ALERTING）メッセージの受信までにその呼が閉域接続（CUG）サービスに関連する理由または関連しない理由のため呼損となるならば、網は着信ユーザから受信する最初の切断復旧メッセージ中に適切な表示があるリターンエラーコンポーネントを期待する。呼設定が閉域接続（CUG）サービスに関連する理由のために呼損となるならば、リターンエラーコンポーネントを伝える切断復旧メッセージの中の標準JT-Q931理由表示は通常#29 “ファシリティ拒否”である。リターンエラーコンポーネント内の表示は、発信ユーザに返送される。リターンエラーコンポーネントがないものは、着信側の網で閉域接続（CUG）サービスに関連しない理由による呼損とみなされる。

放送形データリンクを通して送られる「呼設定」（SETUP）メッセージの場合、網は網オプションとして5.2.5.3節/標準JT-Q931によって保持される標準JT-Q931理由表示と一緒にリターンエラーコンポーネントを保持しても良い。リターンエラーコンポーネントを含む複数の切断復旧メッセージを受信した場合、最初の切断復旧メッセージの中に含まれているリターンエラーコンポーネントの中の表示が発信ユーザに返送される。もし最も優先順位の高い標準JT-Q931理由表示を持つ切断復旧メッセージのいずれもがリターンエラーコンポーネントを含まず、かつ優先順位の低い標準JT-Q931理由表示を持つ他の切断復旧メッセージがリターンエラーコンポーネントを含むならば、これらのリターンエラーコンポーネントのいずれの表示も発信ユーザに返送されない。

表5-1 a / JT-Q955 [I] 発側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

本表は、着側の網へ送られる発呼要求種別と発信ユーザへ返される拒否表示種別を決定するのに用いられる。

注一 本表から得られる発呼要求種別は、表5-2 / JT-Q955 [I] と関連付けられる。

要求された基本サービスに対する発信ユーザのCUG属性		発信ユーザから受信した「呼設定」(SETUP)中のCUG情報				
		CUG呼のインボーク受信				CUG呼のインボークなし
		OA要求なし CUGインデックスあり	OA要求あり CUGインデックスあり	OA要求なし CUGインデックスなし	OA要求あり CUGインデックスなし	
出アクセス 非許容	CUG内 発呼可	CUG呼 IC=特定CUG (注1)	CUG呼 IC=特定CUG (注1)	拒否 RE-VAL=#21  (注5)	拒否 RE-VAL=#21  (注5)	拒否 Q931- CAUSE=#29  (注5)
	CUG内 発呼禁止	拒否 RE-VAL=#18	拒否 RE-VAL=#18			
出アクセス 呼毎	CUG内 発呼可	CUG呼 IC=特定CUG (注1)	CUG呼-OA IC=特定CUG (注2)	拒否 RE-VAL=#21  (注5)	非CUG呼  (注5)	拒否 Q931- CAUSE=#29  (注5)
	CUG内 発呼禁止	拒否 RE-VAL=#18	非CUG呼			
出アクセス 固定	CUG内 発呼可	CUG呼-OA IC=特定CUG (注1)	CUG呼-OA IC=特定CUG (注1)	非CUG呼  (注5)	非CUG呼  (注5)	非CUG呼  (注5)
	CUG内 発呼禁止	非CUG呼	非CUG呼			
優先CUG指定	CUG内 発呼可	CUG呼 IC=特定CUG (注3)	CUG呼 IC=特定CUG (注3)	CUG呼 IC=優先CUG	拒否 RE-VAL=#21	CUG呼 IC=優先CUG
出アクセス 非許容	CUG内 発呼禁止	拒否(注4) RE-VAL=#18	拒否(注4) RE-VAL=#18	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)
優先CUG指定	CUG内 発呼可	CUG呼 IC=特定CUG (注3)	CUG呼-OA IC=特定CUG (注3)	CUG呼 IC=優先CUG	非CUG呼	CUG呼 IC=優先CUG
出アクセス 呼毎	CUG内 発呼禁止	拒否(注4) RE-VAL=#18	非CUG呼 (注4)	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)
優先CUG指定	CUG内 発呼可	CUG呼-OA IC=特定CUG (注3)	CUG呼-OA IC=特定CUG (注3)	(注8)	CUG呼-OA IC=優先CUG	(注8)
出アクセス 固定	CUG内 発呼禁止	非CUG呼 (注4)	非CUG呼 (注4)	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)	組合せ禁止 (注6)
非CUGユーザ		拒否 RE-VAL=#0	拒否 RE-VAL=#0	拒否 RE-VAL=#0	拒否 RE-VAL=#0	非CUG呼 (注7)

表5-1b / JT-Q955 [I] 発側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

用語:

OA	-	出アクセス
IC	-	CUGインタロックコード
RE	-	リターンエラーコンポーネント
RE-VAL	-	リターンエラー値
RE-VAL	# 0	ユーザ未契約
RE-VAL	# 1 6	存在しないCUGインデックス (無効または未登録CUGインデックス)
RE-VAL	# 1 7	要求基本サービスはCUGの制限を侵害
RE-VAL	# 1 8	CUG内発呼禁止
RE-VAL	# 2 1	発信呼の情報と加入者クラスの不一致
Q. 931-CAUSE	# 2 9	ファシリティ拒否

注1- 要求された基本サービスに対してCUGインデックスとCUGインタロックコードが適合しているとは仮定する。適合しないときは、

- CUGインデックスは存在するが、要求された基本サービスに適切でない場合、呼はリターンエラー値# 1 7で拒否される。

要求された基本サービスがどのCUGにも該当しない場合を含むことを注釈する。

- CUGインデックスが存在しないとき、呼はリターンエラー値# 1 6で拒否される。

注2- 要求された基本サービスに対してCUGインデックスとCUGインタロックコードが適合しているとは仮定する。適合しないときは、

- CUGインデックスは存在するが、要求された基本サービスに適切でない場合、呼は非CUG呼として継続される。

要求された基本サービスがどのCUGにも該当しない場合を含むことを注釈する。

- CUGインデックスが存在しないとき、呼はリターンエラー値# 1 6で拒否される。

表5-1c / JT-Q955 [I] 発側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

注3- 要求された基本サービスに対してCUGインデックスとCUGインタロックコードが適合しているとは仮定する。適合しないときは、

- CUGインデックスは存在するが、要求された基本サービスに適切でない場合、呼はリターンエラー値# 1 7で拒否される。

- CUGインデックスが存在しないとき、呼はリターンエラー値# 1 6で拒否される。

注4- CUGインデックスが優先CUGと一致したとき、この組合せはオプションデータ内で禁止される。即ち、優先CUGではCUG内発呼禁止オプションを割り付けることはできない。

注5- 要求された基本サービスがどのCUGにも該当しない場合を含む。

注6- この組合せはオプションデータ内で禁止される。即ち、優先CUGではCUG内発呼禁止オプションを割り付けることはできない。

注7- これは、閉域接続(CUG)サービスに加入していないユーザが非CUG呼を行なう通常の場合を表している。



表5-1 d / JT-Q955 [I] 発側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

注8- 優先CUGと固定許容の出アクセスオプションは、いずれかのインボークコンポーネントを「呼設定」(SETUP)メッセージに含めることなく要求できることを意味する。

ユーザが両方のオプションに加入していた場合、網はユーザが「呼設定」(SETUP)メッセージでどちらのオプションをインボークしているのかを認識できない。

3種類の実施方法が推奨される。

- (1) ユーザは出アクセス呼を設定しようとする場合、それを指示しなければならない。情報(CUG要求か、発信呼要求)が与えられない場合、優先CUGと仮定される。
- (2) このオプションの組合せを許容しない。即ち、ユーザは同時に両方のオプションを割り付けられない。
- (3) 発呼後、網は優先CUGと出アクセス要求ありとして呼をルーティングする。そのため、着番号が優先CUGの加入者か、異なったCUGの加入者で入アクセスを持っているか、または非CUGユーザであれば呼は接続される。

(1)のオプションの場合、送信先の網へ送られる発呼要求種別は(CUGインタロックコード=優先)のCUG呼である。

(2)のオプションの場合、オプションの組合せは許容されない。

(3)のオプションの場合、送信先の網へ送られる発呼要求種別は(CUGインタロックコード=優先)、OA要求ありのCUG呼である。

上記オプションの選択は国内オプションである。

TTC注- TTC標準として、(3)を選択する(参考2.1(l)(b))。

表5-2 a / JT-Q955 [I] 着側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

本表は、着信ユーザへ送られた発呼要求種別と発信ユーザへ返される拒否表示種別を決定するのに用いられる。

網からの CUG表示 種別	M or NM	要求基本サービスに対する着信ユーザのCUG属性				非CUG ユーザ
		入アクセス非許容		入アクセス許容		
	CUG内 着呼可	CUG内 着呼禁止	CUG内 着呼可	CUG内 着呼禁止		
CUG呼 出アクセス 表示なし	M	CUG呼	拒否 RE-VAL=#19	CUG呼	拒否 RE-VAL=#19	拒否 RE-VAL=#20
	NM	拒否 RE-VAL=#20 (注1)		拒否 RE-VAL=#20 (注1)		
CUG呼 出アクセス 表示あり	M	OA要求あり CUG呼	拒否 RE-VAL=#19	OA要求あり CUG呼	非CUG呼	非CUG呼
	NM	拒否 RE-VAL=#20 (注1)		非CUG呼 (注2)		
非CUG呼	—	拒否 RE-VAL=#20 (注2)		非CUG呼 (注2)		非CUG呼 (注3)

用語：

M — 要求されたサービスに対してCUGインタロックコードとCUGインデックスが一致している。

NM — 要求されたサービスに対してCUGインタロックコードとCUGインデックスが一致していない。

表中の用語：

CUG呼 — 「呼設定」(SETUP)メッセージのインボークコンポーネントはCUGインデックスを含むが、出アクセスを要求しない。

OA要求ありCUG呼 — 「呼設定」(SETUP)メッセージのインボークコンポーネントはCUGインデックスを含み、出アクセスを要求する。

非CUG呼 — 「呼設定」(SETUP)メッセージにインボークコンポーネントは存在しない。

I C — CUGインタロックコード

RE — 発信ユーザへ返されるリターンエラーコンポーネント

OA — 出アクセス

表5-2b/JT-Q955〔I〕 着側の網におけるCUGチェック  
(CCITT Q.955.1)

RE-VAL	-	リターンエラー値
RE-VAL #17	-	要求基本サービスはCUGの制限を侵害
RE-VAL #19	-	CUG内着呼禁止
RE-VAL #20	-	ユーザはCUGメンバでない

注1- 着信ユーザのCUGインタロックコードが存在しないためCUGが適合しないと仮定する。CUGインタロックコードは存在するが、要求された基本サービスに適合でない場合、呼はリターンエラー値#17で拒否される。

要求された基本サービスがどのCUGにも該当しない場合を含むことを注釈する。

注2- 要求された基本サービスがどのCUGにも該当しない場合を含む。

注3- 閉域接続(CUG)サービスに加入していないユーザが非CUG呼を受けた通常の場合を表している。

## 6. 他の付加サービスとの相互作用

### 6.1 コールウェイティング(CW)

相互作用なし。

### 6.2 コールトランスファ(CT)

現時点では、適用される相互作用はない。

### 6.3 接続先番号通知(COLP)

相互作用なし。

### 6.4 接続先番号通知制限(COLR)

相互作用なし。

### 6.5 発信者番号通知(CLIP)

相互作用なし。

### 6.6 発信者番号通知制限(CLIR)

相互作用なし。

### 6.7 閉域接続付加サービス(CUG)

関連なし。

### 6.8 会議通話(CONF)

現時点では、適用される相互作用はない。

## 6.9 ダイレクトダイヤルイン (DDI)

ユーザがダイレクトダイヤルイン (DDI) 付加サービスにも加入していたとき、閉域接続 (CUG) 付加サービスは、網が認識できる ISDN 番号の一部、またはそのアクセスに有効なデフォルト番号を基準にして提供される。しかしながら、閉域接続 (CUG) 付加サービスへの加入は DDI 番号毎に有効とするのではなく、アクセスまたはアクセス群で適用できる DDI メンバの全ての範囲に基づかなければならない。

## 6.10 着信転送系サービス

### 6.10.1 ビジー時着信転送 (CFB)

相互作用なし。

### 6.10.2 無応答時着信転送 (CFNR)

相互作用なし。

### 6.10.3 無制限着信転送 (CFU)

相互作用なし。

### 6.10.4 呼毎着信転送 (CD)

相互作用なし。

## 6.11 代表 (LH)

相互作用は CCITT 勧告 Q. 952. 6 に記述されている。

## 6.12 三者通話 (3PTY)

相互作用は CCITT 勧告 Q. 954. 2 に記述されている。

## 6.13 ユーザ・ユーザ情報転送 (UUS)

### 6.13.1 サービス 1

相互作用なし。

### 6.13.2 サービス 2

相互作用なし。

### 6.13.3 サービス 3

相互作用なし。

## 6.14 複数加入者番号付加サービス (MSN)

発側着側双方において各々の ISDN 番号に別々の閉域接続 (CUG) サービスを提供することが可能でなければならない。

発信端末がその MSN を認識しないとき、発側の網によってデフォルト番号を割り付けた CUG 属性が適用されなければならない。

受動バスが CUG の完全性を確保するのは CUG マネージャの責任である。

#### 6.15 保留サービス (HOLD)

相互作用なし。

#### 6.16 課金情報通知 (AOC)

相互作用なし。

#### 6.17 サブアドレス (SUB)

相互作用なし。

#### 6.18 端末移動

相互作用なし。

#### 6.19 話中時再呼び出し (CCBS)

現時点では、適用される相互作用はない。

#### 6.20 悪意呼通知 (MCID)

現時点では、適用される相互作用はない。

### 7. 他網との相互作用

#### 7.1 公衆網との相互作用

2つの網の間に共通線信号方式 No.7 リンクが存在する場合、CUGインタロックコードが両側の網を通じて唯一となるには、相互契約が必要である。

CUGインタロックコードの一部は、既にコードが割り当てられている国を識別していることを注釈する。

共通線信号方式 No.7 網が閉域接続 (CUG) サービスを提供していない網 (例えば、アナログ網) とインタワークする場合、ゲートウェイは、非CUG呼及び出アクセス要求しているCUG呼を通常呼として扱う。後者の場合、CUGインタロックコードは廃棄され、発側の網には特別な通知は何も返送されない。

CUG呼 (出アクセス要求のない) の場合、ゲートウェイはその発呼要求を拒否する。発信ユーザに返送されるリターンエラーコンポーネント内の表示は、“ユーザがCUGメンバでない”となり、通常、標準JT-Q931理由表示#29 “ファシリティ拒否”となる。

#### 7.2 私設ISDNとの相互作用

公衆網CUGがアクセスにより私設網CUGと相互作用する場合、CUGユーザのために準備されたゲートウェイ (例えばPBX) において、2つのCUGドメイン間をマッピングすることにより、連結したCUGドメインを1つのCUGとして認識することができる。

このような環境のもとでは、アクセスはCUGの目的のためのノード内リンクとして振るまわなければならない。

私設網CUGドメインを持つ私設網が発側の網の場合、閉域接続 (CUG) サービスが要求されるときは常に公衆CUGインデックスが、「呼設定」 (SETUP) メッセージの中に表示されなければならない。これにより私設網は、公衆CUGの失敗または着信側私設CUGの失敗を示す適切な表示を受け取ることができる。

従って、私設網が発側の網で公衆CUGドメインとの相互作用を予期する場合は、明示的な閉域接続（CUG）サービス要求のみを使用しなくてはならない。

私設網が着側の網の場合は、特別な手順は必要としない。

## 8. 信号フロー

以下の例はCUG情報及びそれらのCUG関連内容を運ぶメッセージのみ示している。そうでなければ、基本呼制御が適用される。

表 8-1 / JT-Q 955 [ I ] 図の略語  
(CCITT Q.955.1)

FAC	: ファシリティ情報要素	CI	: CUGインデックス
CUG-CL-INV	: CUG呼インボーク	OA	: 出アクセス表示
RE	: リターンエラー		

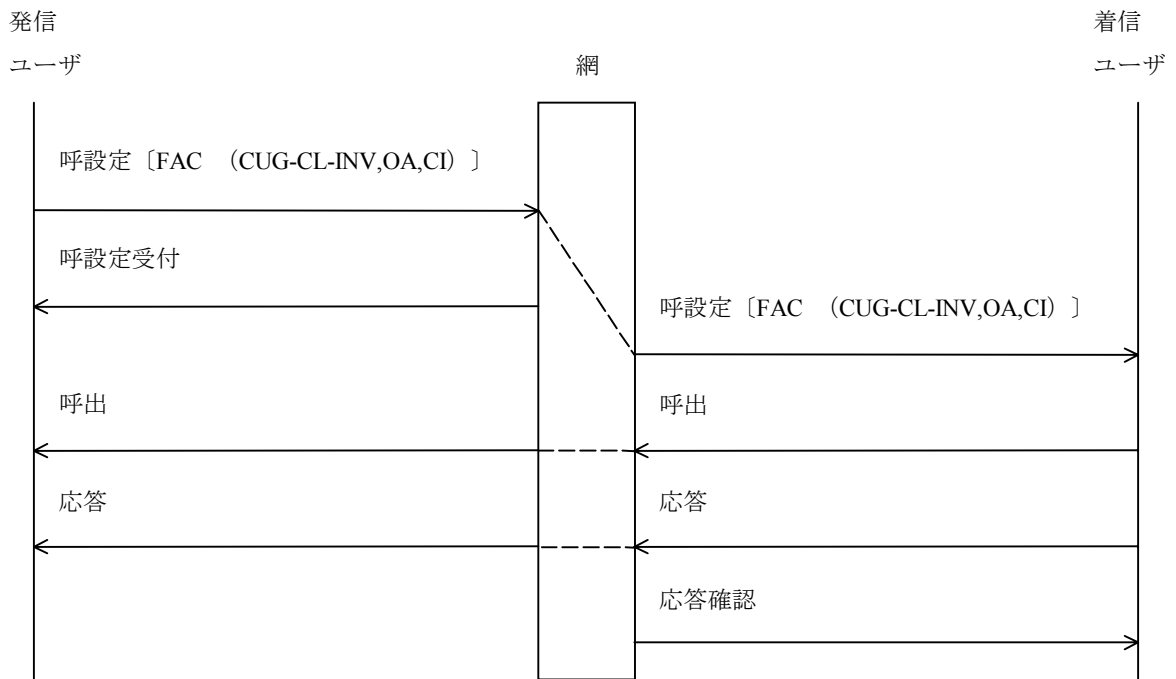


図 8 - 1 / J T - Q 9 5 5 [ I ] 発側及び着側の網で C U G チェック  
(CCITT Q.955.1) に成功した場合

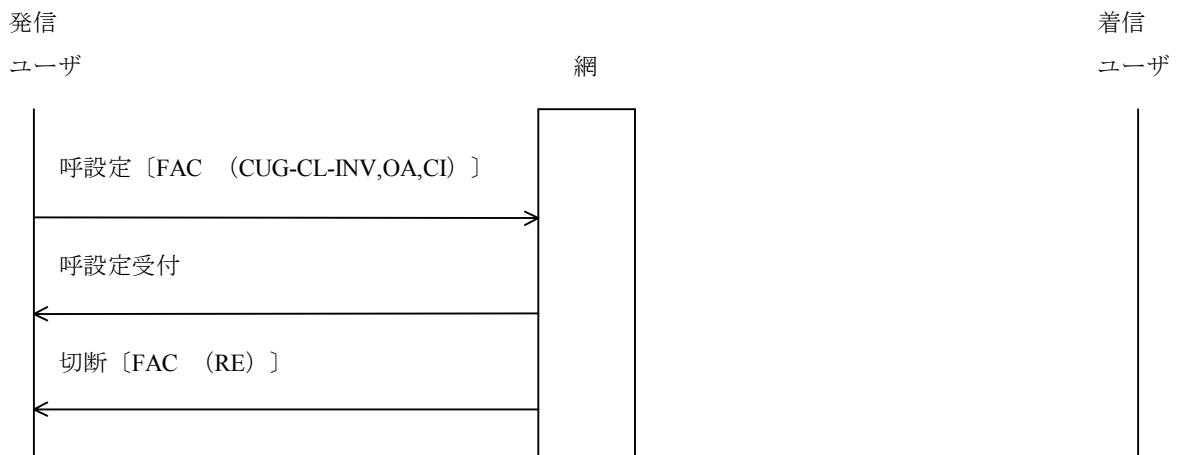


図 8 - 2 / J T - Q 9 5 5 [ I ] 着側の網で C U G チェックに失敗した場合  
(CCITT Q.955.1)



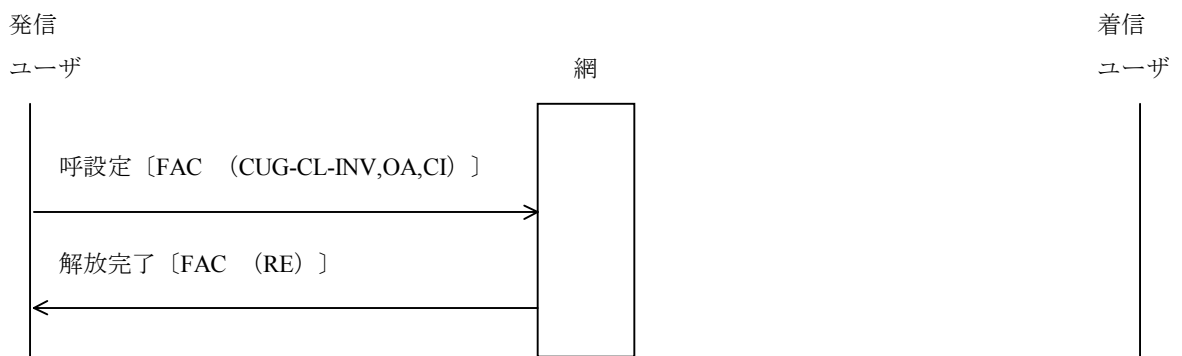
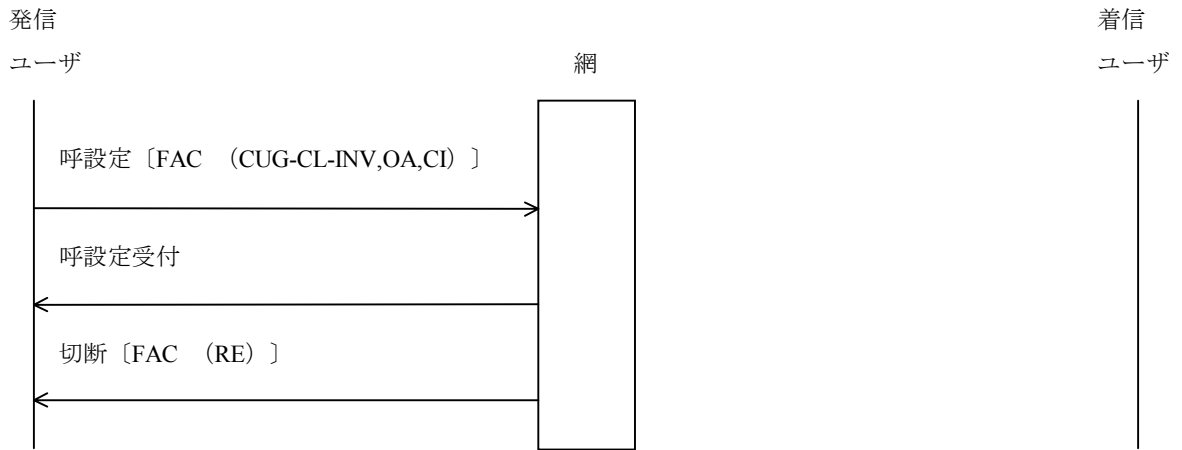
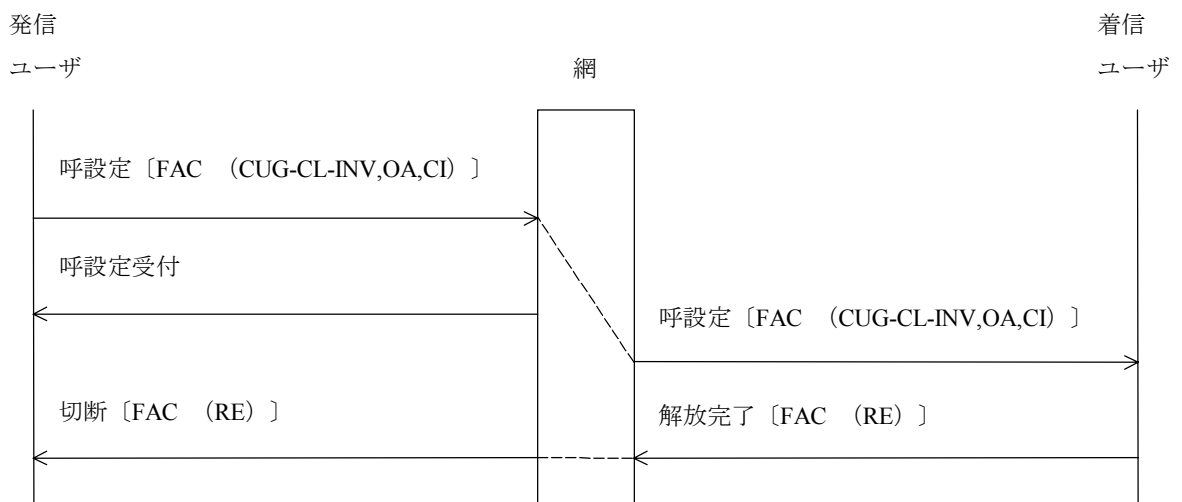


図 8 - 3 / J T - Q 9 5 5 [ I ] 発側の網でCUGチェックに失敗した場合 (CCITT Q.955.1)



注一 着信ユーザに対しては、ポイント・ツー・ポイント形態を想定している。

図 8 - 4 / J T - Q 9 5 5 [ I ] 発側の網及び着側の網でCUGチェックに成功し、着信ユーザ側で失敗した場合 (CCITT Q.955.1)

## 9. パラメータ値（タイマ）

閉域接続（CUG）サービスに対して付加的なタイマは定義されない。

## 10. 動的記述（SDL）

SDL記述を、図10-1/JT-Q955〔I〕および図10-2/JT-Q955〔I〕に示す。

図10-1/JT-Q955〔I〕および図10-2/JT-Q955〔I〕に、発側および着側の網におけるCUGプロセスのSDL記述をそれぞれ示す。

CUGプロセスは、呼制御プロセスの拡張としてモデル化される。呼制御プロセスとCUGプロセスの間では、プリミティブにより情報のやり取りができる。

呼制御プロセスは、CUGプロセスに対して呼制御イベントやパラメータを送り、CUGプロセスからの指示を待つ。CUGプロセスからのプリミティブは以下の2種類に分けられる。

- (a) 継続 — 継続プリミティブは、呼制御プロセスが先に進むことを促すが、呼の確立や切断復旧の呼制御の流れを変えることはない。CUGプロセスから呼制御に対して付加的な指示が提供されることもある。例えば、

- 通常 — 呼制御に対して付加的な指示なし。

- 適用チェック — 呼制御に、適切なCUGチェックの実行を要求する。

- （ステージ2記述のファンクショナルエンティティ FE3「出側CUG制御」およびFE5「入側CUG制御」は、ステージ3記述の「CUGプロセス」としてはモデル化されないことを注釈する。）

- リターンエラー値 — 呼制御に、発信ユーザへの最初の呼切断復旧メッセージ中に、示された値を備えたCUG呼リターンエラーコンポーネントを含む事を要求する。

- (b) 呼切断復旧 — 呼切断復旧プリミティブにより、呼の制御は呼の確立から、CUGプロセスによってもたらされる付加的な情報を用いた、適切な呼切断復旧手順へと移行する。

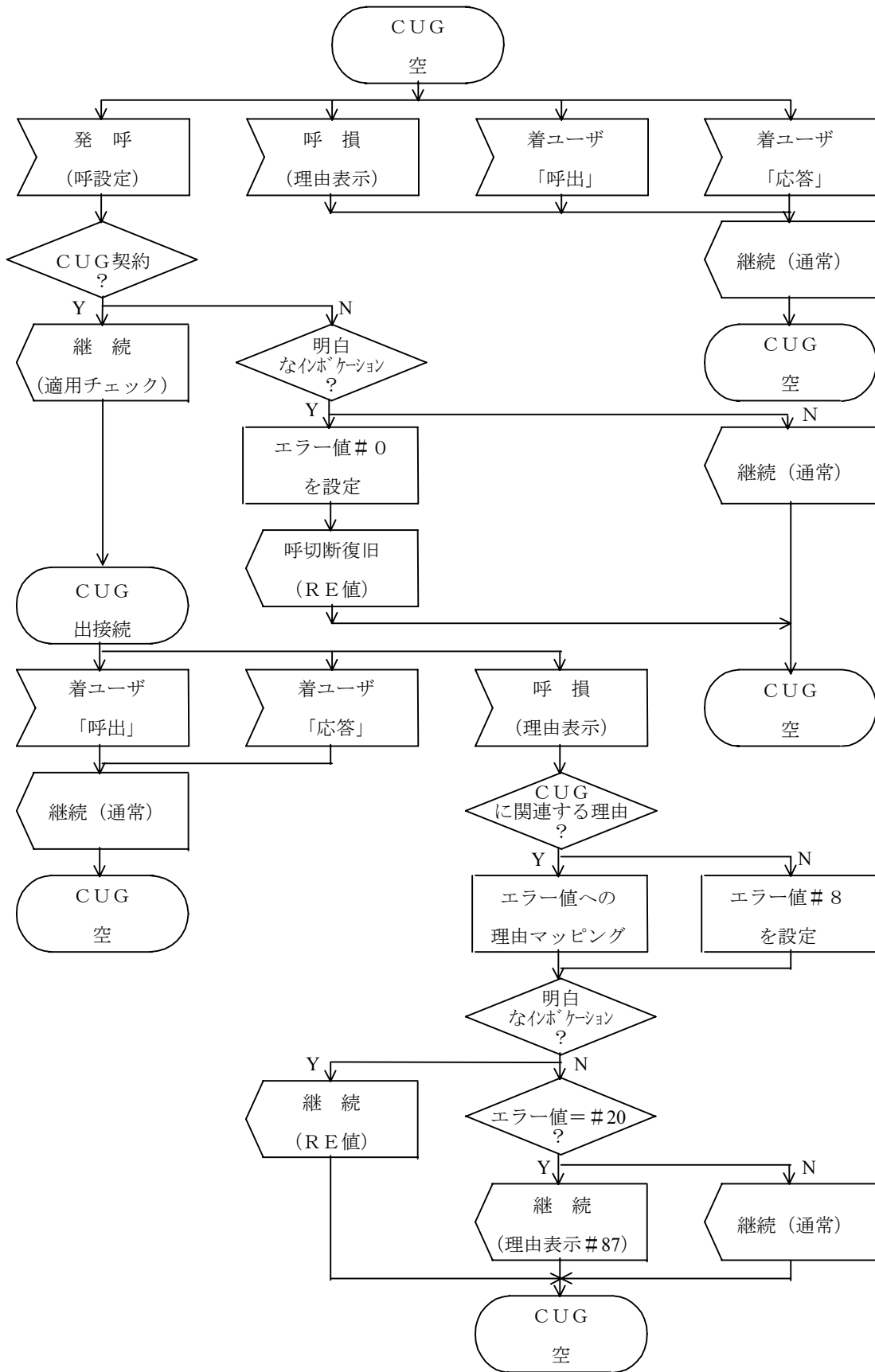


図10-1/JT-Q955 [I] CUGプロセス - 発信 (網側)  
(CCITT Q.955.1)

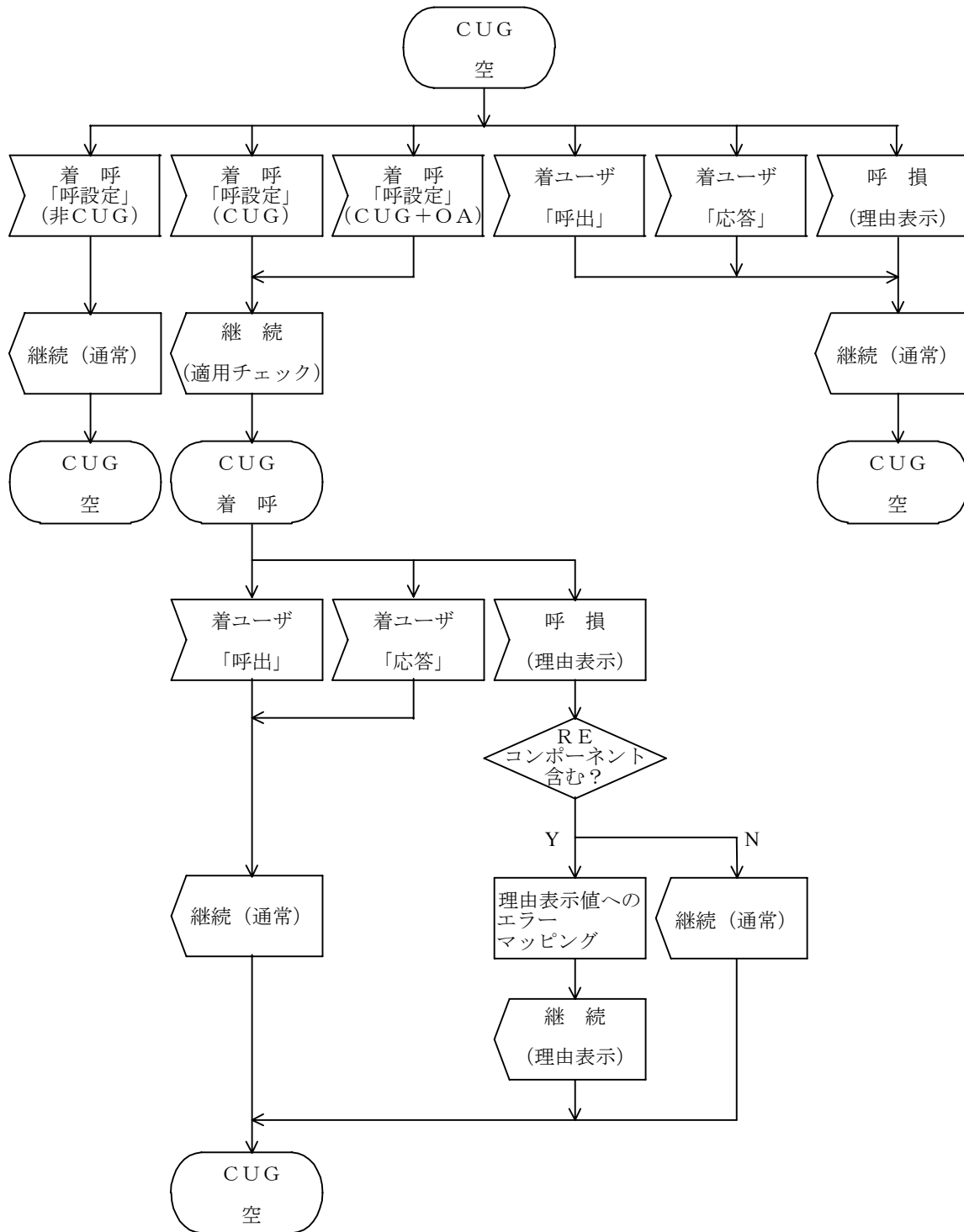


図10-2/JT-Q955 [I] CUGプロセス - 着信 (網側)  
(CCITT Q.955.1)

付属資料 A  
(JT-Q955 [I] に対する)  
コーディングへの要求条件のダイアグラム記述

本付属資料は、以下のコンポーネントの詳細なコーディング例を与える。

- ーインボークコンポーネント
- ーリターンエラーコンポーネント

注ー このコンポーネントの正式な記述はこの標準の4章で定義されており、この付属資料と内容の食い違いがある場合には、その章の記述を優先する。本構造とコーディングは一例を示してあるのみであり、適正なコーディングの全範囲は4章の正式な定義の中で与えられる。

## A. 1 インボークコンポーネント

インボークコンポーネントタイプ	10100001	コンテキスト特有,コンストラクター,1
インボークコンポーネント長	00001111	(例)
インボークコンポーネント内容:		
インボーク識別子タイプ	00000010	ユニバーサル,プリミティブ,2 (INTEGER)
インボーク識別子長	00000001	
インボーク識別子内容	xxxxxxxx	インボーク 識別子値
オペレーションタイプ	00000010	ユニバーサル,プリミティブ,2 (INTEGER)
オペレーション長	00000001	
オペレーション内容	00000010	CUG 呼
シーケンスタイプ	00110000	ユニバーサル,コンストラクター,16 (SEQUENCE)
シーケンス長	00000111	(例)
シーケンス内容:		
出アクセス要求タイプ	10000001	コンテキスト特有,プリミティブ,1
出アクセス要求長	00000001	
出アクセス要求内容	11111111 00000000	真偽 } (BOOLEAN を意味する)
CUGインデックスタイプ	10000010	コンテキスト特有,プリミティブ,2
CUGインデックス長	00000010	(例)
CUGインデックス内容	xxxxxxxx	} (INTEGER を意味する)
CUGインデックス内容	xxxxxxxx	

付図 A-1/JT-Q955 [I] インボークコンポーネントのコーディング例  
(CCITT Q.955.1)

## A. 2 リターンエラーコンポーネント

リターンエラーコンポーネントタイプ	10100011	コンテキスト特有,コンストラクター,3
リターンエラーコンポーネント長	00000110	
リターンエラーコンポーネント内容:		
インボーク識別子タイプ	00000010	ユニバーサル,プリミティブ,2 (INTEGER)
インボーク識別子長	00000001	
インボーク識別子内容	xxxxxxxx	インボーク識別子値
エラータイプ	00000010	ユニバーサル,プリミティブ,2 (INTEGER)
エラー長	00000001	
エラー内容	00000000 (0)	ユーザ未契約
	00001000 (8)	基本サービス失敗
	00010000 (16)	存在しないCUGインデックス (無効または未登録CUGインデックス)
	00010001 (17)	要求基本サービスはCUG の制限を侵害
	00010010 (18)	CUG内発呼禁止
	00010011 (19)	CUG内着呼禁止
	00010100 (20)	ユーザはCUGメンバでない
	00010101 (21)	発信呼の情報と加入者クラスの不一致 上記以外予約済。

付図 A-2/JT-Q955 [I] リターンエラーコンポーネントのコーディング例  
(CCITT Q.955.1)

略号リスト（標準 J T - Q 9 5 5 [ I ] 内で使用した）

CUG	Closed User Group	閉域接続付加サービス／閉域接続グループ
ISDN	Integrated Services Digital Network	サービス総合デジタル網
DSS1	Digital Subscriber Signalling System No.1	デジタル加入者線信号方式 No.1
ASN.1	Abstract Syntax Notation 1	抽象構文記法 1
SDL	Specification and Description Language	仕様記述言語



英 語	T T C 標準用語
number of waiting calls	待機中の呼数
numbering plan field	番号計画識別
operational requirement	動作上の要求条件
originating local exchange	発信側加入者線交換機
originating network side	発側の網
originating user-network interface	発ユーザ・網インタフェース
other private systems	その他の私設網
outgoing access	出アクセス
outgoing calls barred within CUG	CUG内発呼禁止
particular call	特定の呼
preferential CUG	優先CUG
prior arrangement	事前契約
private installation	私設設備
provision/withdrawal	サービス提供/取消し
requirement	要求条件
reserve	リザーブ
screening function	網検証機能
screening indicator value	網検証識別子
served user	サービス対象ユーザ
service provider	サービス提供者
special marks	特別契約あり
specific terminology	特殊用語
Subaddressing	サブアドレス (SUB)
subject	対象
subscription agreement	加入契約
subscription option	加入契約オプション
subset	サブセット
Terminal Portability	端末移動

英 語	T T C 標準用語
terminating interface	着側のインタフェース
terminating network	着側の網
Three-Party Service	三者通話 (3 P T Y)
User-to-User Singalling	ユーザ・ユーザ情報転送 (U U S)
violate	侵害する
waiting call	待機中の呼
Connected Line Identification Restriction	接続先番号通知制限 (C O L R)
connected party subaddress	接続先サブアドレス
Conference Calling	会議通話 (C O N F)
correlation	相互関係
CUG index	C U G インデックス
CUG interlock code	C U G インタロックコード
CUG manager	C U G マネージャ
CUG only service	C U G 内サービス
CW notification	コールウェイティング通知
default number	デフォルト番号
destination local exchange	着信側加入者線交換機
destination user-network interface	着ユーザ・網インタフェース
digit sequence	番号列
Direct Dialling-In	ダイレクトダイヤルイン (D D I)
DSS1	デジタル加入者線信号方式 No.1
dynamic description	動的記述
explicit	明示的な
failure	呼損
general description	概要
generic address	ジェネリックアドレス
IE	情報要素
incoming access	入アクセス

英 語	T T C 標準用語
incoming calls barred within CUG	CUG 内着呼禁止
ISDN number	I S D N 番号
Line Hunting	代表 (L H)
Malicious Call Identification	悪意呼通知 (M C I D)
Multiple Subscriber Number	複数加入者番号付加サービス (M S N)
network provided	網記入
no impact	影響なし
none designated	指定なし
no significance	無意味
not allowed	非許容
number of B-channel per interface	インタフェース毎の B チャンネル数
number of B-channel per ISDN number	I S D N 番号毎の B チャンネル数
number of calls	呼数
addressing capacity	アドレス容量
Administration	サービス提供者
administrative reasons	サービス提供者の理由
Advice of Charge	課金情報通知 (A O C)
allowed per call	呼毎許容
allowed permanently	固定許容
arrangement	契約
assumptions made about the terminal	想定端末
audible inband indication	可聴インバンド情報
called user	着信ユーザ
called party subaddress	着サブアドレス
Call Deflection	呼毎着信転送 (C D)
Call Forwarding Busy	ビジー時着信転送 (C F B)
Call Forwarding No Reply	無応答時着信転送 (C F N R)
Call Forwarding Unconditional	無制限着信転送 (C F U)

英 語	T T C 標準用語
Call Hold	保留サービス (H O L D)
Calling Line Identification Presentation	発信者番号通知 (C L I P)
Calling Line Identification Restriction	発信者番号通知制限 (C L I R)
calling party number	発番号
calling party subaddress	発サブアドレス
calling user	発信ユーザ
calling user notification of waiting call	発信ユーザへの待機中通知
call originating	発信呼
call terminating	着信呼
Call Transfer	コールトランスファ (C T)
Call Waiting	コールウェイティング (C W)
call waiting service	コールウェイティングサービス
call waiting subscription	コールウェイティング契約
CCITT Recommendation E.164	勧告 E. 1 6 4
CCITT Recommendation Q.931	標準 J T-Q 9 3 1
Closed User Group	閉域接続付加サービス (C U G) C U G
compatibility checking	整合性の検証
Completion of Calls to Busy Subscriber	話中時再呼出し (C C B S)
Connected Line Identification Presentation	接続先番号通知 (C O L P)